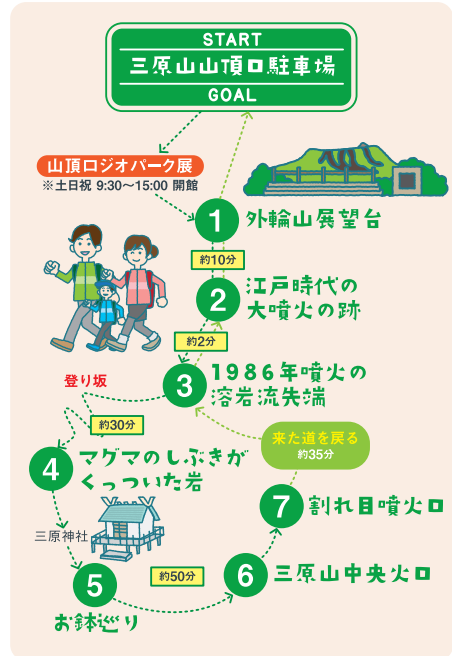


おすすめモデルコース
トレッキングで体験!
 - Trekking Course -

01 三原山お鉢巡りコース

体力 **☆☆** 目安時間 **約2時間40分**
 ガイド付きの場合: 3時間30分~4時間

カルデラ内にふれ出した、生き生きとした溶岩流を間近に感じながら三原山を登り、荒々しい噴火口や伊豆諸島・伊豆半島・富士山などの火山仲間を眺望できる。火山満喫コースです。生きている地球の息吹と体温が感じられます。



凡例

- トイレ Toilet
- 駐車場 Parking
- 車両進入禁止 No Entry for Vehicles
- もしも噴火したらとにかくこまめに避難!
- 国立公園特別保護地区

伊豆大島ジオパークをもっと楽しむ!

ここはなぜデコボコしてるの? なぜゴツゴツした溶岩の上に植物が生えているの?

ガイドツアーのススメ
 ジオガイドは、伊豆大島ジオパークで出会える景色や体験の奥にある「ふしぎ」を楽しく読み解くお手伝いをしています!

伊豆大島ジオパーク認定ジオガイドが行うジオツアー
 半日1名 5,400円 (2名様より開催) ※2019年7月現在
 お問い合わせ 大島観光協会 Tel.04992-2-2177

いくつ見つけられるかな?

- 春: イサドリの赤い若葉、ツクシのしっぽ
- 夏: 火口周りの杭に止まるアブラゼミ、オオヨロヨロ出てくるオオカゲトカゲ
- 秋: 打ち上げ花火みたいなアンシバの花、キラキラ光る金色の山
- 冬: 三原神社鳥居の上の富士山
- 通年: オレンジ色の三つ目、カケテルグラスに浮かぶ島々、カマボコみたいな退避壕

02 三原山&裏砂漠フルコース

体力 **☆☆☆** 目安時間 **約3時間20分**
 ガイド付きの場合: 5~6時間

三原山お鉢巡りから裏砂漠に立ち寄り、温泉ホテルまで歩くタフなコースです。裏砂漠体験のほか、1986年割れ目噴火がつくりあげた奇妙な溶岩原や、緑の森が再生していく過程の中を歩きます。火山の恵み・温泉ホテルの露天風呂で疲れを癒すのもオススメです!

※スタート地点とゴール地点が異なりますのでご注意ください
 (発着地点ともに路線バスが運行しています【大島バス:TEL 04992-2-1822】)



おすすめモデルコースの注意事項について

- 目安時間は休憩なしで歩き続けたときの時間です。ゆっくり観察したい方、のんびり景色を楽しみたい方は時間に余裕を持ってお出かけください!
- ※足元の悪い場所を歩きます。トレッキングシューズまたは靴底の厚い運動靴を着用しましょう(足の疲労や怪我の危険性を軽減します)
- ※立入禁止区域や危険な場所には入りません。
- ※山頂は日陰がありません。熱中症予防にこまめな水分・塩分補給を心がけましょう。
- ※山頂周辺は平地と比べて風が強く天気が急変しやすいので、十分注意しましょう。
- ※強風時や濃霧時のお鉢巡りや裏砂漠歩きは非常に危険です。行程の中止や引き返しなどの確に判断して行動しましょう。

1 外輪山展望台 お山にかかったチョコレート

伊豆大島火山の噴火がつくりあげた風景を一望できる展望台です。目の前に広がる平らなカルデラの中に、江戸時代の大噴火で誕生した三原山が見えます。山頂の黒いスジは、1986年の噴火で山頂の火口からふれ出した溶岩流の跡です。

2 江戸時代の大噴火の跡 溶岩がシワがよる?

遊歩道を少し歩く左側に、ももことした溶岩の小山がいくつも見えてきます。この辺りの溶岩は、江戸時代の大噴火で流れ出したものです。ぶつくりとふくらんだおまんじゅうのような形や、何本も並んだ縄のようなふしぎな形の溶岩がたくさん見られます!

3 1986年噴火の溶岩流先端 ゴツゴツ溶岩

山頂火口からふれ出した溶岩は三原山の斜面を流れ下り、それまであった遊歩道をおおって、ここで止まりました。溶岩流の先端部の厚さは約5メートル、デコボコ・ゴツゴツした表面が特徴です。上に登って噴火当時の溶岩の流れを想像してみてください!

4 マグマのしぶきがくっついた岩 巨大なおはき?

この巨大な岩は、1986年噴火の際、火口の中で大量のマグマのしぶきが積み重なってできた、さらには巨大なブロックの一部が崩れたものです。火口からふれ出した溶岩流に浮かんでは流され約500メートルも運ばれて、三原山の斜面を下る手前のここで座礁しました。

5 お鉢巡り わずか1時間のパノラマウォーク!

直径300~350メートル、深さ約200メートルの火口を見下ろしながら、周囲をぐるりと回ることができる遊歩道です。火口と反対側には島を取り囲む360度の海と、富士山、伊豆半島、伊豆諸島、房総半島、三浦半島の大自然が望めます。

6 三原山中央火口 巨大な穴はマグマの出口!

地球内部から上がってくるマグマの出口です。1986年噴火ではマグマがこの穴を満たして、ついにはあふれ出ました。火口の壁には、過去の噴火の溶岩や噴石が何層にも重なった層が見られます。周辺では、地下のマグマで水が温められ、白い湯気が上がっています。

7 割れ目噴火口 炎のカーテン!

噴火はいつも山頂だけで起こるわけではありません。1986年には三原山の北側斜面で「割れ目噴火」が発生しました。南東から北西方向に約1キロメートルにわたってたくさんの火口が開き、噴き上がったマグマのしぶきは高さ1500メートルまで達しました。

8 裏砂漠・風の丘 黒い砂漠

噴火のために細かい溶岩の粒や火山灰が降り積もり、黒い砂漠をつくりました。強い風の通り道であり、植物の種や芽生えを吹き飛ばしてしまうため、黒い景観が保たれています。そのような中でも、風を少し避けられる場所から徐々に植物の再生が始まります。

9 ジオ・ロックガーデン 何に見えるかはあなた次第

さまざまな形の黒い岩が一面にニョキニョキと広がっています。1986年の「割れ目噴火」で降り積もったマグマのしぶきが、地表を流れる溶岩流に運ばれながら変形し、1日足らずでこの奇岩のガーデンをつくりあげました。何が見えるか、何に見えるかはあなた次第!

10 再生の一本道 黒一色の大地がやがて森に

厳しい環境に適応したバイオニア植物から命の再生が始まります。噴火によって黒一色となった地面が次第に草原となり、木が生え、森となる数百年間の物語をこの一本道でたどることができます。

11 赤ガレ 真っ赤な渓谷

近くの火口から溶岩が降り積もり、丘ができました。溶岩は高温の状態でも空気中と十分触れ、酸化して赤くなりました。その後、長い年月をかけ侵食されて丘の内部が現れ、赤い渓谷が生まれました。谷の先に広がる海には伊豆諸島が望めます。

◎ 三原山山頂 ジオパーク展 登る前に行ってみよう!

外輪山展望台すぐそば、「展望避難休憩舎」の1階にあります。ガイドさん常駐! 1986年噴火の映像も見られます!

【開催】土・日・祝 9:30~15:00
 【無料】無料

伊豆大島は若くて元気な火山島です!

伊豆大島は海底噴火から誕生した、島そのものがひとつの「活火山」です。これまで幾度となく噴火を繰り返して、この島をつくりあげました。

火山活動の状況は、国や大学等が火山観測機器を多数設置し、気象庁が常時監視しています。もし火山に異常があれば防災行政無線でお知らせします。しかし、突発的な現象には注意が必要です。火山活動の現状や、登山中に万が一、突発的な噴火が起こった場合の対処方法を事前にご確認ください。

展望避難休憩舎

山頂登山口(歌乃茶屋・展望避難休憩舎)では、火山噴火の備えをまとめたポスターや無料貸し出しヘルメットをご用意しています。

伊豆大島の火山活動状況(気象庁)